# 岡子連だより

第30号　2007年10月
発　行
岡崎市子ども会育成者連絡協議会
岡崎市子ども会安全会
岡崎市十王町２丁目９番地
岡崎市青少年女性課内
電話（0564）23－6221
発行責任者
市　川　賀　三

## 「平成」を未来のヒット商品にしよう

岡崎市市民文化部
部長　市　川　美　子

日経流通新聞が選んだ07年上期のヒット商品番付。団欒の風景を変えた白い箱、「Ｗｉｉ」が東の大関として土俵入りしました。一方、03年の西の横綱は「昭和」。30年代を舞台とした映画も上映され、「昭和」はこれからもヒット商品であり続ける予感がします。私自身、高度成長期目前の若き活力に包まれた日本で幼少期を過ごした、昭和に癒しを感じる世代の一員でございます。

一日をやり遂げた爽快感に包まれる銭湯。夜の帳が降りると物の怪が蠢く鎮守の森。モノは豊かではなかったけれども、活気が溢れ、心温まる人情で結ばれた繋がりがありました。「人と人」そして「人と自然」がもっと近くで繋がっている時代。それが私たちの愛する『昭和』でした。

平成生まれの高校生が卒業を迎えるようになりましたが、「平成」は「昭和」のような温もりで彼らを癒してくれるでしょうか。子どもたちが巣立ったとき、懐かしむことのできる「平成」をプレゼントするのは、私たち昭和生まれの役割だと思います。そして、その中核にあるのが子と子、子と親、子と地域を結ぶ「子ども会」ではないかと、私は思っております。

「岡子連だより」には、球技大会、お祭り、キャンプやお楽しみ会に興じる子どもたちが昭和世代と同じ笑顔で写っています。役員さんのご指導のもと、子どもの自主性を尊重して見守る親御さんの温かい眼差しが子どもたちを包み、どのページにも愛情と親心が溢れています。遠い昔に出会った記憶を揺り動かすような懐かしみのある写真を拝見するにつけ、子ども会活動のひとつひとつが、いつでも帰ることのできる心の故郷として生き続けることを確信した次第です。岡崎市子連役員の皆さんをはじめ、ブロック、学区役員、各子ども会役員さんのご努力とご活躍により、すべての親と子が、子ども会活動に参加し楽しい思い出をいっぱい残してくださるよう願わずにはいられません。

この４月から市民文化部長となり、青少年健全育成、子ども会といった、やりがいある仕事を担当し身の引き締まる思いです。子どもの心に故郷を残すことのできる、子ども会が輝く環境づくりに努めてまいりますので、今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

## インリーダー研修会
### ユメミガチサマー

ジュニアリーダー　チョコバナナ

夏に行う研修会は、例年３日間行っていたので今年の２日間はとても短く感じられました。

参加者は48人と昨年よりも少なく、少し寂しい気もありましたが、９班それぞれ少ない人数だからこそ、みんなが親しみやすく楽しむことができました。

自然がいっぱいの岡崎市少年自然の家で、班対抗のクイズラリーやすごろく、キャンプファイヤーなどの全員で楽しめる様な行事を行いました。

参加者の子は帰るときには満足そうに、みんな笑顔で帰っていき、とても嬉しく思いました。また冬にも研修会を計画しています。冬にはもっとみんなが楽しんでくれるように頑張ります。

**【班別活動のアンケートより】**

○最初はちょっと不満だったけど、いろんな活動をしていくうちに班のみんなと仲良くなりました。特に「航馬君」と友達になりました。（加藤希望）
○初めは、誰も話をしなくってつまんなかったけど、２日目の班活動は気軽に話せ、友達になれてよかった。（小縣彩音）
○３回目の参加であまり緊張はしなかった。♡友ラチになれて、ヨカッタ♡。（太田菜々美）
○自己紹介が緊張した。（５名）

# こども会紹介

## 子ども達とともに

矢作東学区　三区子ども会
宮　崎　葉　子

矢作には、東西南北の冠をつけた５つの小学校があります。私達、矢作東学区三区子ども会は、その矢作東小学校を中心に南北に長く、約150名の子ども達とその親で活動しています。

今年も８名の役員と10名の世話役さんが決まり、不安の中、手さぐりでの出発となりました。

3区ソフト
3区フット

まずは、夏のイベント、ソフト・フットの球技大会に向けて心をひとつに？と活動は始まります。快く監督・コーチを引き受けて下さった父兄の方々に感謝しつつ、五月晴れの中、練習が始まりました。この日から３ヶ月弱の間、土日に２～４時間の練習を、子ども達は本当によく頑張っていました。日差しの強くなるこの時期、玉のような汗をかき、時にはボールと喧嘩しながらも普段見せないような顔つきで、監督・コーチの熱心な指導のもと一生懸命やっている様子は、是非、一人でも多くの御父兄の方に見にきていただいて、応援してほしいと強く思ったほどです。また、学年の違う子ども達が、区別なく同じ気持ちでボールを追う中で、お互いを労ったり、尊敬したりしている様子。父兄である監督・コーチ達の普段はできないであろう自分の子ども以外の子どもたちとの交流は、子ども会の行事ならではの、ほのぼのとした光景で見のがせません。経験豊かな大人との関わりで子ども達も精神的に成長できる部分があったのではないでしょうか。

そんな楽しい（子ども達はそう言ってました）練習は、長いようで短く感じられましたが、子ども達は、着実に成長しチームワークも良い状態で大会に望む事ができました。フットは、残念ながら決勝へ進めませんでしたが、ソフトは、ブロック大会まで進むことが出来、準優勝という成績を取ってきてくれました。市の大会には出られないので、悔し涙を流す子、一生懸命やったからという満足感でいっぱいの子、最後の写真撮影では、それでも監督、コーチと共に笑顔一杯で応じてくれました。

子ども達とともに、一緒に感動できる事は、そんなに多くはありません。忙しい中、熱心に指導して下さった監督、コーチの皆さん、一生懸命応援して下さった町内会の皆さん、そして御父兄の皆さんへの感謝の気持ちを子ども達とともに忘れないようにしたいものです。

## 球技大会に向かって…

藤川学区　中町子ども会
伊与田設子

私達中町子ども会は、男女合わせて19名の会員で成り立っています。男子ソフト・３年生２名、４年生２名、５年生２名、６年生４名計10名。女子フット・６年生２名……男女共合併チームでの出場になりました。男子は３単子、女子は５単子の合併チームで練習開始です。５月の〝黄金の連休〟明けから始まりました。梅雨が心配でしたが、６月１回７月１回のみ雨で中止になっただけで、監督さんコーチさんを始め、お手伝いのお母さん、役員、子どもと共に練習に励みました。

６月30日には練習試合を行いました。ソフトは学区で３チーム、フットは学区で２チーム、それぞれ一勝一敗でした。この日は、とても暑く子ども達が心配でしたが、元気良く帰ってきました。ホッ。球技大会は７月21日（土）の予定でしたが、朝から大雨で中止、翌22日になりました。……が、その日は昨日との温度差が10度近くあり、真夏日となりました。日射しも強く、心配していましたがソフトは、な、なんと優勝「やったー」。フットもとても良い試合でしたが準優勝「やったー」。ソフトは、中町子ども会としては、なんと昭和59年以来の優勝でした。今年度子ども会が始まって大変な事も多々あったけれど忘れさせてくれました。

〝カッピーズ〟優勝おめでとう……

８月４日（土）東海額田ブロック大会があり〝カッピーズ〟が出場、惜しくも初戦で負けてしまいましたが、子ども達は初めてのブロック大会で、いつもとは違う緊張感を感じる事が出来て良かったと思いました。それぞれ練習時間が少ない中、ボールを追いかける子ども達を見ていると日に日にたくましさを感じ、頑張る子ども達に私も頑張らないと……と元気をもらいました。

球技大会が終わると、子ども会の活動もあと数回となります。子ども達と一緒に元気に楽しく有意義な時間を過ごしたいと思います。最後に、今年度、私と一緒に役員をしてくださった皆さん、私達を支えてくださったお父さんお母さん、本当にありがとうございました。

これからの活動も、お父さんお母さんの支えが無いと出来ないので、これからもよろしくお願い致します。

## 少なくたって、小さくたって気持ちは大きいんだぞぉ〜！

大樹寺学区　河原町子ども会
加　藤　久美子

「ぜったいに優勝するよ」と……子ども達が。

おいおい。あなた達は、自分達がどんなチームかわかって言ってるの？と言わんばかりの発言。

わが大樹寺学区河原町フットベースチームは、５、６年各１名、４年５名、３年２名、２年６名、１年２名の少なくて小さなチームです。昨年は６年生がいなかった事もあり、試合には出られませんでした。と同時に男子も少人数が続き、ここ何年か練習はしても試合には出場できないのです。

私が監督になり今年で３年目になりました。自分の子が子ども会に入りフット練習をやり初めてから、幼い頃の自分を思い出し「私も大樹寺小出身。夏休みに町内の友達とほぼ毎日フットの練習をして楽しかった。この想いを子ども達に味わさせてあげたい。」その一心で初めました。今では町内の子は「監督！監督」とどこで会っても声をかけてくれます。

さて、練習がゴールデンウィーク開けから初まりました。ほぼ休む子はいないくらい全員出席です。初めに書いたように皆、優勝しようと思っているから、その気持ちがとても伝わってくるので、私も負けずと張り切って結構厳しくしました。でも、終った後は一緒にポッキンアイスを食べ、同じ小学生の友達みたいな感覚にもどり、楽しい一時を過ごしました。

試合当日、朝公園にユニホーム姿で緊張した顔で集まっていました。これこそまさに良い顔。会場に着いてもやっぱり５、６年の子は顔が強ばっています。さぁ、河原町第一試合目。１回表に６点入れられたけれど、裏には７点入れ、少し笑顔が戻ってきましたが結果23対８で負け。試合終了後に何人か私の所へ来て泣いていました。

結果は何でもいいんです。それに向けて最後に泣けるくらいがんばったと言う自分の自信が心に残れば。一つも努力してなければ泣く事もないでしょう。又、来年も私は子ども達と公園でボール遊びをしているでしょう。あの子ども達の素直な笑顔が大好きです。

河原町の男女合わせて32名。笑顔、素直、元気をありがとう。

## 子ども会・おとな会

福岡学区子ども会
落　合　由　香

私たち福岡学区子ども会は、13単子約500人の子ども達から成り立っています。

また少子化問題の影響、地域が若返りしないままの高齢化やライフスタイルの変容、子ども会への価値観の相違等々もあり、会員数が10人超の単子から100人前後の大所帯の単子まで様々です。

しかしながら、それぞれ単子の関係者の方々は、色々な性質の問題を抱えながら、時には深刻に、時には良い意味で開き直りと思えるくらいあっけらかん（?!）としながらも、各単子間で合同企画のイベントを開催したり、合同のチームを編成をするなどして、相互協力しつつ日々子ども会活動に楽しく取組んでおります。

さて、今年から学区球技大会の日程が学区行事との日程の調整もあり例年より２週間繰り上がり７月８日となり、ソフト８チーム、フット７チームの参加で行いました。時期としては梅雨の真っ只中、そして西からは台風が直撃するという予報、関係者を大会当日まで悩ませましたが、大会本番は皆様方の人徳のお陰で天候にも恵まれ（日中は時折雲さえ無くなりそうなうだるほどの暑さでした…）、特に怪我人も無く、熱中症で倒れる子どもも無く、どうにか無事行う事が出来ました。

大会を通じて学区の役員として感じた事は、ボールを触れるのもままならない子ども達が２ヶ月の間に逞しく成長すること、最初は練習に参加することも嫌いで仕方なかった子ども達が、試合に負けて本当に悔しくて泣いて、来年はもっと頑張るぞと宣言してしまうこと、加えてそんな子ども達を心身ともにサポートし続けている各チーム関係者の方々の熱意があるということ。

最後に、私たちは時として８歳の娘などに「またおとな会なの？」と揶揄される事もあります。でもしかしそんな子ども会活動の有意義な体験を通じて、少しでも子ども達の健全な成長に一助となるよう今後も影ながら応援していきたいと思っております。

# 第51回 岡崎市子ども会球技大会

## 優勝

ソフトボールの部
**形埜学区子ども会**
フットベースボールの部
**梅園学区子ども会**

８月18日（土）に岡崎市中央総合公園運動広場において、恒例の岡崎市子ども会球技大会が開催されました。市内８ブロック大会の代表がソフト・フットの優勝旗を我がものにしようと熱戦を繰り広げました。猛暑で厳しいコンディションの中、最高の試合になるよう各チーム一丸となりました。

優勝チームの喜びの声をインタビューしました。

第51回 岡崎市子ども会球技大会
A
中日
中日
Oceans

### ソフトボール

形埜学区　形埜オーシャンズ
キャプテン　大澤勇哉君（６年）

1　**優勝の喜びの声を聞かせて**
みんなのおかげで優勝できました。応援や練習でここまでこれました。

2　**練習で楽しかったことは**
よいバッティングが出来た時にほめられたこと。

3　**練習でつらかったことは**
うまくキャッチボールが出来なかったことです。

4　**チームの中で約束はありましたか**
みんなで優勝すること。

5　**監督との約束は**
勝つために、練習すること。

6　**後輩達に望むことは**
来年も市の大会で優勝してもらいたいです。

監督　浅見志貴雄　さん

1　**優勝の感想を一言**
多くの方々に『形埜』を知ってもらえてうれしいです。

2　**監督を引き受けた理由は**
昨年、市の大会で１回戦敗退。悔しくて、来年は子ども達に優勝の経験をさせてやりたいと思い秋から練習を始めましたがその流れから。

3　**練習開始時期は**
昨年の秋です。

4　**指導方針を教えて下さい**
ピッチャーは球が速く低めにコントロールできるピッチャーが育つように厳しい練習をさせました。打つほうはバント練習に重点をおきました。

5　**子ども達は変わりましたか**
いいピッチャーでバッティング練習が出来たので、打撃は上手になりました。また、バントを絡めて１点を取る戦法の大切さを子ども達は理解したと思います。

6　**来年度への希望は**
「来年も優勝」なんて事は難しいと思いますが、メンバー全員で優勝旗を返しに来たいと思います。

### フットベースボール

梅園学区　ＩＮＡＧＯ
キャプテン　鎌形明音さん（６年）

1　**優勝の喜びの声を聞かせて**
昨年、優勝をのがし、今年こそと思っていたので優勝できて最高です。

2　**練習で楽しかったことは**
打球が遠くへ飛ぶようになったこと。

3　**練習でつらかったことは**
正確な送球ができるまで。

4　**チームの中で約束はありましたか**
全員でしっかり声を出す。市の大会で優勝すること。

5　**監督との約束は**
集中力を保つ。15人全員でプレーする。

6　**後輩達に望むことは**
Ｖ２達成！

第51回 岡崎市子ども会球技大会
A
中日
中日
INAGO

監督　河上　積　さん

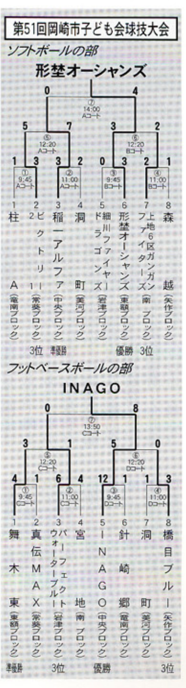
1　**優勝の感想を一言**
過去、市の大会へ出場しても初戦敗退。今年、念願の優勝ができて本当に嬉しく思います。

2　**監督を引き受けた理由は**
監督を５・６年の父兄にお願いしたが引き受けてもらえず、昨年まで監督をしていた自分に依頼があり引き受けました。

3　**練習開始時期は**
子ども会としては、５月連休明けから練習開始。但し、子ども会活動とは別に練習を希望する子どもを集め、昨年９月から始めました。

4　**指導方針を教えて下さい**
まず一番に『挨拶・礼儀』。次に、何事にも一生懸命取り組む姿勢。

5　**子ども達は変わりましたか**
キャプテンを中心に６年生が下級生を引っ張り、一生懸命取り組む姿勢がみえるようになりました。

6　**来年度への希望は**
市大会の２連覇を達成してほしい。